

進路だより‘一期一会’

～ さあ、決断の年です！ 自分の希望する進路の実現を目指してがんばろう！ ～

中学校「最後」の年になりました。義務教育「最後」の年になりました。何をやるにしても、頭に「最後の」がついて回る学年になりました。そして、大きな「決断」をすることになる学年でもあります。みんなが、‘まだまだ先の話だよ’と思っていたことが、いつの間にか、もう、現実、そこまで近づいてきています。後、半年もすれば、自分の進路を決めなければならない時がやって来ます。その時、“いきなり進路を決めろ”といわれても、どうしていいのか見当も付かないと思います。そうならないために、今から少しずつ自分の進路について考えていきましょう。おそらく、わからないことばかりだと思います。そんな時は、どんな些細なことでもかまいません。遠慮せずに、進路担当や、担任の先生に聞いて下さい。“こんなこと聞いてもいいのかなあ”“こんなこと聞くと恥ずかしい”なんて思っていないで、疑問に思った、その時すぐに質問して解決していきましょう。

“聞くは、一時の恥、聞かぬは一生の恥！”ですよ。



～ 自分の進路を決めるに当たって ～

小学校から中学校に進学する時は、どの学校に進むか、ということについて、何も迷うことなく、嬉野中学校に入学したと思います。義務教育の期間（中学校3年生まで）は、あえて私立の中学校に行きたいということでなければ、自動的に地域の中学校に入学することになります。しかし、義務教育終了後は、仕事に就くか、さらに勉強したいという人は、高等学校や専門学校に進学するという二つの道に分かれます。今から60年ほど前は、高校への進学率が約60%でした。その15年後の1975年には、進学率が90%を超えて、現在まで少しずつ増えながら90%以上を維持しています。つまり、10人中9人、ほとんどの中学生は、卒業後進学してることとなります。間違わないでほしいことは、高校は、必ず行かなければならない所ではないということです。簡単に言えば、中学校を卒業した後、さらにもっと勉強したい人が行く所です。周りの友達が行くからとか、みんなが行くから、行かない自分は、何か置いて行かれているようで、不安だからとか、行かないと恥ずかしいだとか、そんな

気持ちで試験を受けて、入学することになっても、途中で辞めることになったり、何もやる気なく日々を過ごしてしまうことになるかもしれません。進学するのであれば、‘将来こういう仕事がしたいからこの高校へ行くんだ’とか、‘この高校で、こんなことをしてみたい’とか、‘この高校のクラブでがんばりたい’といった明確な目的や信念を持って下さい。自分の進路を決めるに当たって、今日から意識してほしいことを挙げておきます。

①自分自身をよく知ろう！

自分は、どんなことに興味、関心があるのか、どんなことに向いているのか、将来どんな職業に就きたいか、というように自分を見つめ直してみてください。そして、家族や友人にも相談しながら、じっくり考えていきましょう。

②進路についての情報を集めよう！

進路には、進学と就職があります。仕事と言っても、多種多様です。進学と言っても、高等学校、専門学校などいろいろな学校があります。全日制、定時制、通信制の種別があり、科も普通科、工業科、商業科、農業科など様々です。詳しいことは、この先、進路説明会や授業などで話をしていきますが、一昔と違い、今はいろんな所のホームページを見れば、たくさん情報を得られます。ぜひ自分からどんどん調べていきましょう。わからないことがあれば、遠慮せず質問をして下さい。待ってます。

③日頃の生活を見直そう！

まず大事なのは、毎日の授業です。先生達も全力で授業します。みんなも基本的なこと、「チャイム着席をする」「予習、復習をする」「忘れ物をしない」「提出物の期限を守る」「授業を真剣に聞く」といった基本的なことをもう一度見直してみてください。さらに、2年生から続けている「シュートク」についても、毎日忘れずに取り組んでいきましょう。人間は、忘れる動物です。忘れる頃に繰り返してやっていきましょう。

④お家の人や先生とよく相談しよう！

いろんな人の意見を聞くことは、すごく大事なことです。大人の方は、必ず一度は経験しているはずなので、成功したこと失敗したことも含めて、聞けばアドバイスをもらえるはず。遠慮しないで、たくさんの人に意見を聞いてみてほしいと思います。

4月・5月・6月の進路に関する予定(変更がある場合があります)

4月19日(火)	全国学力学習状況調査(1～3限)
22日(金)	第1回進路学習会(嬉野中学校体育館)
5月9日(月)	第1回実力テスト
6月16日(木)	前期中間テスト1日目
17日(金)	前期中間テスト2日目
30日(木)	第2回実力テスト